



～互いに支え助け合う！誰もが安心して暮らせるまち泉～

泉わくわくプラン

第4期泉区地域福祉保健計画(令和3年度～令和7年度)



～第4期泉区地域福祉保健計画の策定にあたって～



このたび「互いに支え助け合う誰もが安心して暮らせるまち泉」を基本理念とした、第4期泉区地域福祉保健計画を策定しました。策定にあたっては、泉区地域福祉保健計画策定・推進検討会の委員の皆様や地区別計画の策定に携わった地域の皆様など、多くの方に御協力いただきました。また、区民意見募集などを通じて区民の皆様や関係機関の皆様からも多くの貴重な御意見・御提案をいただきました。心から感謝申し上げます。

泉区の魅力の一つは地域活動が活発に行われていることです。この計画の策定中に、新型コロナウイルス感染症が拡大し、私たちの日常生活に大きな影響をもたらしました。これまでの地域活動のほとんどが休止を余儀なくされる中で、「人と人とのつながり」や地域活動の大切さをあらためて実感する機会となりました。

地域福祉保健計画はそのような「人と人とのつながり」をこれからも大切にし、未来へつなげていく計画であり、地区ごとに特徴のある12の「地区別計画」と泉区全域に関わる課題に対する取組をまとめた「区計画」をその両輪として進めていきます。また、第4期からは区民の皆様の暮らしに身近な計画として、より親しんでいただけるよう、公募で寄せられた「泉わくわくプラン」を計画の愛称としました。

地域に暮らす誰もが「つながり」を実感しながら安心して暮らすことができ、「住むなら泉区」と感じていただけるようなまちづくりを、一緒に進めていきましょう。

横浜市泉区長 **深川 敦子**



第4期泉区地域福祉保健計画は、地域の方々が中心となり、関係機関や団体が検討を積み重ねてようやくここに完成を迎えることができました。

泉区では、これまでの第1期計画から第3期計画まで一貫して区の計画と地区別の計画の双方が同じ方向を目指し、様々な事業が展開されてきました。私自身もこの計画とともに歩んで来たと実感しております。

この計画の大きな特徴は、そこに住む人たちが、日ごろから生活の中で感じる課題を、どう改善していったらいいかを目標に掲げているところにあります。もちろん住民の力だけでは解決できない問題もたくさんあります。そこで、行政や福祉・保健等の関係機関も一緒に力を合わせるように策定されています。

さらに、計画に愛着をもってもらい、より多くの人に関わり、参加してもらえるように今回はじめて愛称が誕生しました。

私自身、泉区民のひとりとして、また、泉区社会福祉協議会の代表としても、地域や隣近所のご縁の絆を深め、居心地のいい地域づくりに取り組んでいきたいと考えております。

社会福祉法人 横浜市泉区社会福祉協議会会長 **大貫 芳夫**



第1期計画より、地域の皆様からのご意見・ご協力をいただきながら策定・推進してきた泉区地域福祉保健計画も第4期を迎えました。5年を1期とするこの計画は、泉区の人々が“互いに支え助け合う”ことで“誰もが安心して暮らせるまちづくり”をめざしたものです。

第4期の泉区地域福祉保健計画「泉わくわくプラン」では第1期から3期までの計画の基本理念を継承しつつ、より実効性の高い“支え合い”をめざして、地域活動の活性化を特に重視した内容となっています。

今期計画の最大の特徴は、計画の愛称が公募によって決定され「泉わくわくプラン」に決まったことです。泉区から素晴らしいアイデアや温かい思いやりがどんどん湧き出て、そして皆さんが「ワクワク」しながら取り組んでいけるプランになればとの願いが込められています。

また、これまでの地域福祉保健計画では取組内容や達成目標が抽象的になりやすくなる課題がありましたが、第4期計画では可能な限り具体的な活動指標を設定することで計画の推進・評価が行いやすくなっています。さらに、計画内容を具体的に理解していただけるように随所にコラムによる解説を入れました。そして、地域包括ケアとの連携により、高齢者を地域全体で支援する体制づくりも充実させました。

地域における“助け合い”は、人と人とのつながりから生み出されるものです。

このつながりを得るには、日常生活のふれあいや協働の中で生み出される住民相互の連帯感や共同意識、そして信頼関係を大切にしながら、自分たちが住んでいる地域をみんなの力で住みよくしていく取組が必要です。

このコミュニティの圏域（大きさ）は、住民が実際にふれ合い支え合うことを考えると、可能な限り小地域であることが望ましいと言えます。身近な地域活動への参加を通じて、近隣住民の相互理解や信頼関係などの絆が深まり、私たちは地域を人生のかけがえのない場として認識します。地区別計画はまさに小地域の絆をつくる計画と言えます。

地域の支えあいや助け合いは、私たち自身が取り組まなければ実現しません。それは私たち自身が地域の構成員であり、私たちの持つ思いや行動力が地域力となるためです。私たちが本当に求める地域は、自分自身で考え、行動することではじめて実現するのではないのでしょうか。

皆さんの思いを受けて完成した「泉わくわくプラン」を、これからの泉区の地域福祉保健の充実に向けて、ワクワクしながら推進していきましょう。本計画へのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

泉区地域福祉保健計画策定・推進検討会 座長 **村井 祐一**

目次

第1章 策定にあたって

- 1 はじめに（計画策定の趣旨）…………… 1
- 2 第1期計画から第3期計画までの経過…………… 5
- 3 統計データにみる泉区の特徴…………… 7

第2章 地区別計画

- 1 地区別計画の位置づけと役割…………… 20
- 2 地区別計画…………… 21
 - 中川地区…22 緑園地区…24 新橋地区…26 和泉北部地区…28 和泉中央地区…30
 - 下和泉地区…32 富士見が丘地区…34 上飯田地区…36 上飯田団地地区…38
 - いちょう団地地区…40 中田地区…42 しらゆり地区…44

第3章 区計画

- 1 区計画とは…………… 46
- 2 第4期計画の「基本理念」…………… 46
- 3 第4期計画の「推進の柱」…………… 46
 - 推進の柱1 健やかに過ごせるまち…………… 49
 - 重点項目1 自分らしく生きるための支援を進める
 - 重点項目2 元気であるための支援を充実させる
 - 重点項目3 地域の安全をみんなで考える
 - 推進の柱2 必要な支援が届くまち…………… 57
 - 重点項目1 相談しやすい仕組みを整える
 - 重点項目2 困りごとを支援につなぐことができる人を増やす
 - 重点項目3 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える
 - 推進の柱3 人と人、活動と活動がつながるまち…………… 63
 - 重点項目1 参加する人を増やす
 - 重点項目2 担い手を増やす
 - 重点項目3 つながる機会を作る

第4章 計画の構成と推進体制及び進行管理

- 1 計画の構成…………… 69
- 2 計画の推進体制及び進行管理・評価について…………… 69

参考資料

- 策定・推進検討会での振り返りと課題検討…………… 75



コラム掲載一覧

コロナ禍における地域活動について	19
ケアラー（介護者等）の支援について	50
障害児・者理解啓発事業	52
泉区障害福祉自立支援協議会	52
和泉川健康みちづくり事業	53
横浜市国民健康保険特定健診について	53
災害時要援護者支援について	55
福祉避難所とは	56
防犯に関する取組	56
ひきこもり等の困難を抱える若者の支援	58
保育所による地域子育て支援	60
地域の子育て支援力向上事業	60
8050問題について	61
生活困窮者自立支援制度について	61
いわゆる「ごみ屋敷」問題について	62
生活支援体制整備事業	62
公園愛護会等の取組	64
地域活動参加へのきっかけづくり	65
泉区まちづくりみらい塾	66
持続可能な地域活動のために	66
地域ケア会議について	68

「泉わくわくプラン」とは

「泉区地域福祉保健計画」の第4期計画からの愛称です。

区民の皆様にとって覚えやすく、親しみをもってもらえるよう、公募により決定しました。

今後は、「泉わくわくプラン」を愛称として、様々な福祉保健の取組を進めていきます。

「泉わくわくプラン」に込められた思い

「泉が湧く」自然環境豊かな泉区で、
「ワクワク」しながら取り組むことで、
誰もが安心して暮らせるまちを
目指します。

